

\* 回答欄には、実施度合い(1, 2, 3, 4)、もしくは0(該当しない)の5つのうち、該当する番号をご回答下さい。

分類	No	チェック項目	実施度合い				回答欄	参考情報、関連団体等
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている		
方針 1.1 全社的な取り組み ①グリーンロジスティクスのための仕組み・体制の整備	1	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている。	企業の環境方針、行動計画等を策定していない。	企業の環境方針、行動計画等を策定しているが、トップのコミットメントがない、もしくはコミットメントの有無が不明である。	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている。	左記に加え、企業の環境方針については、社内のみならず社外へも積極的に公表している。		・トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(交通エコロジー・モビリティ財団) <a href="http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf">http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf</a>
	2	環境委員会や環境部門で、ロジスティクス分野における方針が策定されている。	ロジスティクス分野における方針が存在しない。	ロジスティクス分野における方針を策定中である。	ロジスティクス分野における方針は策定されているが、具体的な実施計画等にはリンクしていない。	ロジスティクス分野における方針、目標、重点施策を策定し、それに基づいた活動を実施している。		
	3	グリーンロジスティクスを推進する体制が構築されている。	グリーンロジスティクスを推進する体制が存在しない。	環境部門の設置、もしくは環境担当者が選任されているのみで、各事業所を含めた推進体制構築までは至っていない。	各事業所を含めた全社的な推進体制が構築され、それぞれ責任者が任命されている。	左記に加え、各段階で、定期的に会合が開催されている。		・トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(交通エコロジー・モビリティ財団) <a href="http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf">http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf</a>
	4	グリーンロジスティクス推進に向けての計画があり、周知徹底している。	グリーンロジスティクス推進に向けての計画は存在しない。	左記の計画を策定中である。	左記の計画は策定しているが、策定部門以外は把握していない。	左記の計画を策定し、全社的に周知徹底している。		・トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(交通エコロジー・モビリティ財団) <a href="http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf">http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf</a>
	5	グリーンロジスティクス推進のため、社員へ教育(人材育成)を行っている。	グリーンロジスティクス推進のための教育訓練を実施しておらず、検討も行ったことはない。	グリーンロジスティクス推進のための教育訓練実施に向けて、検討している。	ロジスティクス関係部門を対象とした教育訓練は実施しているが、定期的かつ計画的なものではない。	環境に関する教育メニューを整理し、ロジスティクス関係部門に対し、定期的かつ計画的に教育訓練を実施している。		・トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(交通エコロジー・モビリティ財団) <a href="http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf">http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf</a> ・グリーンロジスティクスエキスパート講座、グリーン物流基礎コース(JILS) <a href="http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html">http://www.logistics.or.jp/education/seminar/lecture.html</a>
	6	ロジスティクス活動において発生する環境負荷の項目を把握している。	自社のロジスティクス活動で発生する環境負荷の項目を把握していない。	自社のロジスティクス活動で発生する環境負荷の項目の一部は把握しているが、全て網羅できていない。	自社のロジスティクス活動で発生する環境負荷の項目を全て把握、整理できている。	左記に加え、把握、整理した内容を方針や計画の策定の際に活用している。		
	7	海外拠点を含めて、ロジスティクス分野における環境対策を実施している。	海外拠点、国際物流については、実施有無含めて全く把握していない。	海外拠点、国際物流については、環境対応を実施していない。	海外拠点、国際物流について、事業所ごとに環境対応を進めている。	海外拠点、国際物流について、会社として統一的に環境対応を進めている。		
	8	ロジスティクス分野において、法令遵守(廃棄物処理法、各種リサイクル法、過積載輸送の防止など)徹底に向けて取り組みをしている。	自社が遵守しなければならない法令が整理されていない、もしくは整理されているかどうか不明である。	ロジスティクス分野に関連して遵守しなければならない法令を整理しているが、該当する部門の従業員への周知や教育を行っていない。	ロジスティクス分野に関連して遵守しなければならない法令を従業員へ周知・教育を実施している。	左記に加え、定期的な内部監査等でチェックしている。		・CGL 関係法令 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/laws.html">http://www.logistics.or.jp/green/laws.html</a>
	9	ISO14000sを取得している(自己宣言相当の活動をしている)。	ISO14000sを知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	ISO14000sの取得に向けて、検討している。	一部の事業所でISO14000sを取得している。	全社でISO14000sを取得している。		・日本工業標準調査会 ホームページ <a href="http://www.jisc.go.jp/mss/ems-14001.html">http://www.jisc.go.jp/mss/ems-14001.html</a>
	10	エコアクション21を取得している(自己宣言相当の活動をしている)。	エコアクション21を知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	エコアクション21の取得に向けて、検討している。	一部の事業所でエコアクション21を取得している。	全社でエコアクション21を取得している。		・財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター <a href="http://www.ea21.jp/">http://www.ea21.jp/</a>
	11	グリーン経営認証を取得している(自己宣言相当の活動をしている)。	グリーン経営認証を知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	グリーン経営認証の取得に向けて、検討している。	一部の事業所でグリーン経営認証を取得している。	全社でグリーン経営認証を取得している。		・交通エコロジー・モビリティ財団ホームページ <a href="http://www.ecomo.or.jp/topix/ninshou%20pamphlet%2020070620.pdf">http://www.ecomo.or.jp/topix/ninshou%20pamphlet%2020070620.pdf</a>

分類	No	チェック項目	実施度合い				回答欄	参考情報、関連団体等	
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている			
方針 1・1 全社的な取り組み の ための 仕組み・ 体制の 整備	12	ロジスティクス活動に伴って発生する廃棄物の再資源化に向けて取り組んでいる。	廃棄物の再資源化に向けた取り組みを行っていない。	廃棄物の再資源化に向けた取り組みを一部の事業所で実施している。	廃棄物の再資源化に向けた取り組みを全ての事業所で実施している。	左記活動に積極的に取り組み、一部事業所ではゼロエミッションを達成している。			
	13	輸配送に係る環境パフォーマンスを算定している。	パフォーマンスの算定を行っていない、もしくは算定方法を知らない。	パフォーマンスの算定に向けて、検討している。	パフォーマンスの算定を行っている。	左記に加え、算定結果を活用して、PDCAサイクルに基づく改善活動に取り組んでいる。		・環境パフォーマンス指標～活用事例と今後の方向性(環境省) <a href="http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/shihyou/mpi1603.html">http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/shihyou/mpi1603.html</a> ・ロジスティクス分野におけるCO <sub>2</sub> 排出量算定方法ガイドライン <a href="http://www.greenpartnership.jp/co2/index.html">http://www.greenpartnership.jp/co2/index.html</a>	
	14	包装に係る環境パフォーマンスを算定している。	パフォーマンスの算定を行っていない、もしくは算定方法を知らない。	パフォーマンスの算定に向けて、検討している。	パフォーマンスの算定を行っている。	左記に加え、算定結果を活用して、PDCAサイクルに基づく改善活動に取り組んでいる。		・環境パフォーマンス指標～活用事例と今後の方向性(環境省) <a href="http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/shihyou/mpi1603.htm">http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/shihyou/mpi1603.htm</a> ・2004年度環境調和型ロジスティクス調査報告書(JILS) <a href="http://www.logistics.or.jp/search/chart/lems/pdf/04lems_5.pdf">http://www.logistics.or.jp/search/chart/lems/pdf/04lems_5.pdf</a>	
	15	グリーンロジスティクス推進のため、グループ企業、取引先、業界団体(自主行動計画など)と共同に取り組んでいる。	自社単独での取り組みであり、グループ企業や取引先、業界団体と連携した取り組みは実施していない。	グループ企業と共同で取り組んでいるが、取引先や業界団体と連携した取り組みは実施していない。	グループ企業、及び取引先と共同で取り組んでいるが、業界団体とは連携した取り組みは実施していない。	グループ企業、及び取引先と共同で取り組むとともに、業界としての環境負荷低減活動に積極的に取り組んでいる。		・グリーン物流パートナーシップ 推進事業 <a href="http://www.greenpartnership.jp/">http://www.greenpartnership.jp/</a> ・環境自主行動計画(社団法人日本経済団体連合会) <a href="http://www.keidanren.or.jp/japanese/policy/vape/index.html">http://www.keidanren.or.jp/japanese/policy/vape/index.html</a>	
	16	協力会社(備車先等)に対し、環境配慮のための育成・指導を行っている。	協力会社に対し、環境配慮のための育成、指導を行っていない。	協力会社に対する環境配慮のための育成、指導の方針、計画等を作成中である。	一部の協力会社に対し、環境に係る方針、計画等に基づく指導を実施している。	半数以上の協力会社に対し、環境に係る方針、計画等に基づく育成・指導を実施している。		・CGL CO <sub>2</sub> 削減推進委員会 活動成果報告書 III エコドライブ推進ガイド -輸送事業者と発着荷主の連携-	
	17	物流拠点の周辺住民と共に、環境負荷(騒音、振動、ゴミ等)の軽減に向けた取り組みを実施している。	物流拠点の周辺住民を意識した取り組みは、特に実施していない。	敷地外の清掃活動等は行っているが、周辺住民と話し合いを行ったことはない。	周辺住民への話し合いを実施したことはあるが、継続的な活動には至っていない。	物流拠点の周辺住民と定期的にコミュニケーションを図り、環境負荷低減に努めている。			
	18	ロジスティクス分野における環境に対する取り組みを環境報告書や環境レポート等に記載している。	環境に対する取り組みをまとめた環境報告書や環境レポート等を作成していない。	環境報告書や環境レポート等を作成しているが、ロジスティクス分野に関する記載はない。	環境報告書や環境レポート等を作成し、ロジスティクス分野に関する記載を行っているが、環境負荷に関する定量的な記載は行っていない。	環境報告書や環境レポート等を作成し、ロジスティクス分野での環境負荷について、定量的な記載を行っている。		・環境報告ガイドライン2007年版(環境省) <a href="http://www.env.go.jp/policy/report/h19-02/index.html">http://www.env.go.jp/policy/report/h19-02/index.html</a> ・環境ロジスティクス・DB(国土交通省) <a href="http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/kankyotogi/index.html">http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/kankyotogi/index.html</a>	
	19	グリーンロジスティクス推進に寄与する、行政等の各種支援策を把握し、活用している。	行政等の各種支援策について、把握していない。	行政等の各種支援策を把握しているが、具体的に応募の検討までは行っていない。	行政等の各種支援策を把握するとともに、実際に応募の検討を行っている。	行政等の各種支援策を積極的に活用している。		・グリーン物流パートナーシップ 推進事業 <a href="http://www.greenpartnership.jp/">http://www.greenpartnership.jp/</a>	
	② 公害の 防止・ 軽減	20	輸送機関(トラック、船舶等)の大気汚染の防止、軽減の施策を実施している。	輸送機関の大気汚染について特に配慮せず、防止、軽減に向けた施策を実施していない。	各事業所の担当部署に対応を任せており、全社的に現状把握や対策実施等は行っていない。	輸送機関の大気汚染の防止、軽減に向けて、各種法令遵守の徹底を行っている。	左記に加え、自主基準の制定やPDCAサイクルに基づく定期的な改善活動を実施している。		・自動車NOxPM法
		21	騒音・振動の防止、軽減の施策を実施している。	騒音・振動について特に配慮せず、防止、軽減に向けた施策を実施していない。	各事業所の担当部署に対応を任せており、全社的に現状把握や対策実施等は行っていない。	騒音・振動の防止、軽減に向けて、各種法令遵守の徹底を行っている。	左記に加え、自主基準の制定やPDCAサイクルに基づく定期的な改善活動を実施している。		・騒音規制法 ・振動規制法
		22	水質汚濁の防止、軽減の施策を実施している。	水質汚濁について特に配慮せず、防止、軽減に向けた施策を実施していない。	各事業所の担当部署に対応を任せており、全社的に現状把握や対策実施等は行っていない。	水質汚濁の防止、軽減に向けて、各種法令遵守の徹底を行っている。	左記に加え、自主基準の制定やPDCAサイクルに基づく定期的な改善活動を実施している。		・水質汚濁防止法

分類	No	チェック項目	実施度合い				回答欄	参考情報、関連団体等		
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている				
方 針	① 製品 開発	23	包装資材の削減を考慮した製品開発を実施している。	包装資材削減を考慮した製品開発は実施しておらず、検討も行ったことはない。	包装資材削減を考慮した製品開発に向けて検討している。	一部の製品に関して、包装資材削減を考慮した製品開発を実施している。	包装資材削減を考慮した製品開発を積極的に実施している。			
		24	輸送効率を考慮した製品開発を実施している。	輸送効率を考慮した製品開発は実施しておらず、検討も行ったことはない。	輸送効率を考慮した製品開発に向けて検討している。	一部の製品に関して、輸送効率を考慮した製品開発を実施している。	輸送効率を考慮した製品開発を積極的に実施している。			
		25	物流に関する記載が含まれた製品アセスメントガイドラインやマニュアルを利用して、製品評価を実施している。	製品評価を実施していない、もしくは実施しているかどうか把握していない。	製品評価は実施しているが、ガイドライン等に、物流に関する記載がない。	一部の製品に関して、物流に関する記載が含まれたガイドライン等を利用して、製品評価を実施している。	すべての製品に関して、物流に関する記載が含まれたガイドライン等を利用して、製品評価を実施している。		・製品アセスメント…生産者が生産を行う前に製品の生産・流通・使用・廃棄・再資源化・処理・処分の各段階における安全や資源、環境への影響を評価し、必要に応じて製品設計等の変更を行い影響の軽減化を図ること	
	② 生産 体制	26	積載率向上又は環境負荷の少ない輸送手段使用といったことに対応した生産体制を構築している。	生産体制の見直しによる積載率向上又は環境負荷の少ない輸送手段使用といった検討を行ったことはない。	生産体制の見直しによる積載率向上又は環境負荷の少ない輸送手段使用のために、生産部門と検討を進めている。	一部の工場で生産体制の見直しを図っている。	左記に加え、さらなる効果を上げるため、生産部門とともに継続的に検討を進めている。		・CGL CO <sub>2</sub> 削減推進委員会 活動成果報告書 II. モーダルシフト	
		1 ・ 3 商 取 引 の 適 正 化	27	取引先と協力し、取引基準を設定(取引単位を物流単位と整合化するなど)している。	取引先の要求どおりの取引単位で物流を実施しており、取引基準の設定についての提案を行ったことはない。	取引先に対し、取引基準の設定提案を検討している。	左記提案を、一部の取引先に受け入れてもらい、実施している。	左記に加え、他の取引先へ広げるべく積極的に進めている。		・CGL 取引条件見直しによる物流の環境負荷低減効果に関する調査報告書 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#syoushigen2006">http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#syoushigen2006</a>
			28	取引先にインセンティブ(ロット割引等)を提供して、輸送単位を大きくするように誘導している。	取引先だけではなく、自社営業部門に対しても、ロット割引等、輸送単位を大きくするような提案を行ったことはない。	取引先に対し、ロット割引等、輸送単位を大きくするような提案を検討している。	左記提案を、一部の取引先に受け入れてもらい、実施している。	左記に加え、他の取引先へも広げるべく積極的に進めている。		・CGL 取引条件見直しによる物流の環境負荷低減効果に関する調査報告書 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#syoushigen2006">http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#syoushigen2006</a>
② 頻 度 ・ 時 間 の 適 正 化	29	取引先と協力し、配送頻度、納品回数の削減や、リードタイムの見直し(延長)を実施している。	取引先だけではなく、自社営業部門に対しても、配送頻度、納品回数の削減や、リードタイムの見直し(延長)提案を行ったことはない。	取引先に対し、配送頻度、納品回数の削減や、リードタイムの見直し(延長)提案を検討している。	左記提案を、一部取引先に受け入れてもらい、実施している。	左記に加え、他の取引先へも広げるべく積極的に進めている。		・JILS 2007年度物流合理化賞 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) ビジョンケアカンパニー (JILS機関誌2007年6・7月号)		
	30	取引先と協力し、輸送量のピーク期間を移動させることにより平準化している。	取引先だけではなく、自社営業部門に対しても、輸送量のピーク期間を移動させる提案を行ったことはない。	取引先に対し、輸送量のピーク期間を移動させる提案を検討している。	左記提案を、一部取引先に受け入れてもらい、実施している。	左記に加え、他の取引先へも広げるべく積極的に進めている。				
	31	入出荷時間を定刻化し、車両の待機時間を短縮している。	入出荷時間を定刻化しておらず、車両の待機時間はバラバラである。	入出荷時間を定刻化し、車両の待機時間短縮を検討している。	一部分、入出荷時間を定刻化し、車両の待機時間を短縮しようとしていてる。	入出荷時間ならびに車両の接車時間を定刻化し、車両の待機時間を短縮している。				
正 ③ 化 返 品 ・ 回 収 の 適	32	返品抑制のために、返品物流費の有償化や売買契約(納品条件)の見直し等の施策を実施している。	販売最優先体質のため、返品抑制対策を実施できていない。	返品抑制に向け、実施可能な施策に関して、営業部門と検討している。	一部販売先に対し、返品抑制策を実施している。	左記に加え、他の取引先へも広げるべく積極的に進めている。		・CGL 取引条件見直しによる物流の環境負荷低減効果に関する調査報告書 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#syoushigen2006">http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#syoushigen2006</a>		
	1 ・ 4 ネ ッ ト ワ ー ク 設 計	33	環境負荷を考慮に入れた拠点配置を進めている。	コストやサービレベルのみが検討項目となっており、環境負荷については考慮していない。	環境負荷についても検討項目の1つとするべく、検討している。	拠点の新設や見直しの際に、環境負荷も考慮に入れはじめている。	環境負荷を考慮に入れた拠点配置に積極的に取り組んでいる。		・物流総合効率化法 <a href="http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/logistics_efficiency_guide_0703.pdf">http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/logistics_efficiency_guide_0703.pdf</a> ・グリーン物流パートナーシップ 推進事業 <a href="http://www.greenpartnership.jp/">http://www.greenpartnership.jp/</a>	
34		輸送に鉄道を利用している。	鉄道を利用しておらず、検討も行ったことはない。	鉄道利用の検討を行っているが実施に至っていない、もしくは実施しているがモーダルシフト化率(企業全体)では5%未満である。	鉄道を利用しているが、モーダルシフト化率(企業全体)では15%未満である。	鉄道を利用し、モーダルシフト化率(企業全体)は15%以上となっている。		・CGL ロジスティクス源流管理マニュアルver.2 モーダルシフト推進チェックシート・資料集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#genryu2006">http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#genryu2006</a> ・CGL CO <sub>2</sub> 削減推進委員会 活動成果報告書 II. モーダルシフト		
35		輸送に船舶(フェリーを含む)を利用している。	船舶を利用しておらず、検討も行ったことはない。	船舶利用の検討を行っているが実施に至っていない、もしくは実施しているがモーダルシフト化率(企業全体)では5%未満である。	船舶を利用しているが、モーダルシフト化率(企業全体)では15%未満である。	船舶を利用し、モーダルシフト化率(企業全体)は15%以上となっている。		・CGL ロジスティクス源流管理マニュアルver.2 モーダルシフト推進チェックシート・資料集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#genryu2006">http://www.logistics.or.jp/green/report/06_report.html#genryu2006</a> ・JILS 2007年度ロジスティクス大賞 環境賞 (株)トランザップジャパン (JILS機関誌2008年新年号)		

分類	No	チェック項目	実施度合い				回答欄	参考情報、関連団体等
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている		
方針 1・5 情報化・標準化	① 情報化の推進	36 実需要に即応した体制、又は需要予測の精度を向上させ、無駄な生産、在庫、輸送を削減している。	実需要に即応した体制、又は需要予測の仕組みがなく、無駄な生産、在庫、輸送が発生している。	部門単位の取り組みのため、全社としての無駄な生産、在庫、輸送削減に至っていない。	関係部門の連携による全社的な実需要即応体制や需要予測の仕組みができつつあり、効果が出始めている。	左記を積極的に進め、全社的に無駄な生産、在庫、輸送削減が実現できている。		
		37 標準物流EDI(JTRNなど)を利用し、配送伝票を電子化している。	配送伝票を電子化する環境(システム・ソフト・ハード)を持っておらず、全て手作業である。	配送伝票を電子化する環境が整備されつつあり、出荷物量の一部分で導入している。	配送伝票を電子化する環境が整備され、出荷物量の約半分が実現できている。	配送伝票を電子化する環境が整備され、出荷物量の半分以上が実現できている。	・EDI推進協議会 <a href="http://jedic.ecom.jp/">http://jedic.ecom.jp/</a>	
		38 標準輸送ラベルを使用している。	標準輸送ラベルに対する調査や検討を行ったことはない、もしくは存在を知らない。	標準輸送ラベルに対する調査は行っているが、検討には至っていない。	標準輸送ラベル導入に向けて、具体的な検討を実施している。	標準輸送ラベルを積極的に活用する方針が打ち出され、一部で導入が実現している。		
	② スペースの標準化・サイ	39 ユニットロードシステムを導入している。	ユニットロードシステム(以下ULS)を考慮した活動を実施していない、もしくはULSそのものを知らない。	自社で採用可能な部分(対象)について導入に向けて検討している。	自社で可能な部分については採用済みであり、取引先にも提案を実施中である。	自社で可能な部分(対象)は採用済みであり、取引先にも積極的に提案し、実現できつつある。	・総合物流施策大綱(2005-2009) 参考資料「今後推進すべき具体的な物流施策」 <a href="http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/15/151114/02.pdf">http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha05/15/151114/02.pdf</a>	
		1・6 実施 共同化	① 共同輸配送の	40 輸配送車両の削減や積載率を高めるために、共同輸配送を実施している。	共同輸配送を実施しておらず、検討も行ったことはない。	共同輸配送実施に向けて、検討している。	共同輸配送を一部で実施している。	左記に加え、他にも広げるべく積極的に進めている。
	② 保管施設の共同			41 物流拠点を他社と共同で利用している。	物流拠点を他社と共同で利用しておらず、検討も行ったことはない。	物流拠点の他社との共同利用に向けて、検討している。	一部拠点において、他社との共同利用を開始している。	左記に加え、他にも広げるべく、積極的に進めている。

分類	No	チェック項目	実施度合い				回答欄	参考情報、関連団体等
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている		
活 動	① 包装資材の廃止・スリム化	42 使用包装資材を薄肉化、軽量化(段ボール紙質の軽量化 他)している。	使用包装資材の薄肉化、軽量化に取り組んでおらず、検討も行ったことはない。	使用包装資材の薄肉化、軽量化を検討している。	使用包装資材の薄肉化、軽量化に取り組みつつある。	使用包装資材の薄肉化、軽量化に積極的に取り組み、実現している。	・日本パッケージングコンテスト受賞事例 (社)日本包装技術協会 <a href="http://www.jpi.or.jp/contest/contest.htm">http://www.jpi.or.jp/contest/contest.htm</a> ・JILS 2007年度物流合理化努力賞 三井金属鉱業㈱ (JILS機関誌2007年6・7月号) ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html">http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html</a>	
		43 包装形態を簡易化(通い箱、ハンガー輸送、部分包装など)している。	包装形態の簡易化に取り組んでおらず、検討も行ったことはない。	包装形態の簡易化に向けて検討している。	包装形態の簡易化に取り組みつつある。	包装形態の簡易化に積極的に取り組み、実現している。	・2007年度グリーン物流パートナーシップ普及事業 (松下ロジスティクス㈱) <a href="http://www.greenpartnership.jp/pdf/proposal/result_list/h19/h19proposal2_1.pdf">http://www.greenpartnership.jp/pdf/proposal/result_list/h19/h19proposal2_1.pdf</a>	
		44 小箱包装を廃止して大箱にまとめている。	小箱包装の見直しや廃止には取り組んでおらず、検討も行ったことはない。	小箱包装の見直しや廃止を検討している。	小箱包装の見直しや廃止に取り組みつつある。	小箱包装の見直しや廃止に積極的に取り組み、実現している。	・JILS 2007年度物流合理化賞 ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱ ビジョンケアカンパニー (JILS機関誌2007年6・7月号)	
		45 未使用時も減容化しやすい包装材(折りたたみ式通い箱、組み立て式包装資材など)を採用している。	未使用時も減容化できる包装資材を利用しておらず、検討も行ったことはない。	未使用時も減容化できる包装資材導入を検討している。	導入を進めつつある。	積極的に導入を図っている。	・JILS 2007年度ロジスティクス大賞技術賞 富士ゼロックス㈱ (JILS機関誌ロジスティクスシステム2008年新年号) ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html">http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html</a>	
		46 無包装化に取り組んでいる。	無包装化を実施しておらず、検討も行っていない。	無包装化を検討している。	無包装化に取り組みつつある。	無包装化に積極的に取り組み、実現している。		
	② リユース・リサイクル	47 運搬容器やパレットのリユースについて、全社でシステム化し管理している。	運搬容器やパレットのリユースに関する全社的なシステム化に取り組んでおらず、検討も行ったことはない。	リユースの全社的なシステム化を検討している。	システム化を構築・運用したが、部分的である。	全社的なシステム化の構築・運用を行っている。	・2006年度グリーン物流パートナーシップモデル事業 (日本パレットレンタル㈱) <a href="http://www.greenpartnership.jp/pdf/proposal/back/h18/h18proposal.pdf">http://www.greenpartnership.jp/pdf/proposal/back/h18/h18proposal.pdf</a>	
		48 リターナブル、リユース、リサイクル可能な包装資材、運搬容器を使用している。	リターナブル、リユース、リサイクル可能な包装資材、運搬容器を使用しておらず、検討も行ったことはない。	リターナブル、リユース、リサイクル可能な包装資材、運搬容器の使用を検討している。	導入を進めつつある。	積極的に導入を図っている。	・JILS 2007年度ロジスティクス大賞技術賞 富士ゼロックス㈱ (JILS機関誌ロジスティクスシステム2008年新年号) ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html">http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html</a>	
	③ 環境負荷の低い素材の使用	49 包装資材の再使用、再資源化、廃棄を考慮して、素材を変更している。	素材選定の際に再使用、再資源化、廃棄を考慮していない。	包装資材の再使用、再資源化、廃棄を考慮した素材変更を検討している。	素材の変更を進めつつある。	素材の変更に積極的に取り組み、実現している。	・石油系から紙系へ、木系から紙系への切替え、包装資材のリサイクル活動の活発度合い ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html">http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html</a>	
		50 再生素材を原料とする包装資材を使用している(バージン素材を使用しない)。	包装資材に含まれている素材を把握せずに使用している。	再生素材を原料とする包装資材を検討している。	部分的に導入を進めている。	積極的に導入を進めている。	・素材に、再生紙40%以上、再生Pet布・繊維、生分解プラスチックなどを使用。グリーン購入法に適合した資材の採用有無 ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html">http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html</a>	
		51 有害物質を含まない包装資材を使用している。	包装資材に含まれている素材を把握せずに使用している。	素材を把握しているが、切り替えには至っていない。	素材を把握するとともに、部分的に切り替えを進めている。	素材を把握するとともに、積極的に切り替えを進めている。	・石油系材料などに有害物質が添加された材料が使用されていないこと 例: 溶剤系粘着材など ・薫じょうされた木製パレットの使用 ・RoHS指令 (鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB (ポリ臭素化ビフェニル)、PBDE (ポリ臭化ジフェニルエーテル))	
	④ 低公害機器の導入	52 省エネ型、低公害型の包装用機器を導入している。	省エネ型、低公害型の包装用機器を導入しておらず、導入の検討も行ったことはない。	省エネ型、低公害型の包装用機器導入に向けて、検討している。	一部事業所で導入している。	半数以上の事業所で導入している。	インバータ内蔵、低騒音、低排気ガス、省エネ型低消費電力/低燃費機器などの積極導入	

分類	No	チェック項目	実施度合い				回答欄	参考情報、関連団体等	
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている			
活動 ① 輸配送計画の見直し	53	現状の輸送量やリードタイム等を勘案し、環境負荷の少ない輸送手段の使用を定期的に検討している。	環境負荷の少ない輸送手段の使用の検討を行っていない。	環境負荷の少ない輸送手段の使用を検討しているが、不定期である。	リードタイム的に可能な部分について、環境負荷の少ない輸送手段の使用を定期的に検討している。	リードタイム等の見直しを含めて、拡大に向けた検討を進めている。		・CGL CO <sub>2</sub> 削減推進委員会 活動成果報告書 II. モーダルシフトWG	
	54	配送において、物量に応じて、車種、車数、配送ルート、配送回数をきめ細かく見直し、配車計画に反映させている。	物量に応じた見直しは実施していない。	物量に応じた見直しを検討している。	物量に応じた見直しを実施しつつある。	物量に応じた見直しを日単位で実施している。		・2007年度グリーン物流パートナーシップ 経済産業大臣表彰(富士通㈱、DHLサブライチェーン㈱) http://www.greenpartnership.jp/pdf/active/kaigi/06/haihu/handout6-1.pdf	
	55	輸送において、輸送先、輸送量に応じて拠点経由と直送を使い分け、全体で輸送効率を向上している。	過去からの成り行きのまま、拠点経由と直送の使い分けを行っており、見直しを実施していない。	拠点経由と直送の使い分けの見直しを検討している。	拠点経由と直送の使い分けの定期的な見直しを実施しつつある。	拠点経由と直送の使い分けを月単位で見直している。			
	56	便数削減のために、トラックの大型化、トレーラー化をすすめている。	過去からの成り行きのまま、トラックの車種を選定しており、見直し検討も行ったことがない。	便数削減に向けて、大型化やトレーラー化を検討している。	大型化やトレーラー化により便数削減を実施している。	左記に加え、定期的に見直しを行い、さらなる便数削減に努めている。		・CGL 省資源ロジスティクス事例集 http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html	
	② 積載率の向上	57	帰り荷の確保のための工夫(求貨求車システムの導入等)をしている。	帰り荷の確保のための計画的な活動は実施していない。	帰り荷の確保のための方策を検討している。	一部については、帰り荷の確保を実現している。	左記に加え、求貨求車システムの導入や、荷主、納品先等への働きかけにより、帰り荷の確保に積極的に取り組んでいる。		・2007年度グリーン物流パートナーシップ 国土交通大臣表彰(香川松下電工㈱、榊朝日通商、日本通運㈱、日本貨物鉄道㈱) http://www.greenpartnership.jp/pdf/active/kaigi/06/haihu/handout6-2.pdf ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html
		58	輸送・取引単位が小ロットの場合は混載や共同輸送を利用している。	小ロットの貨物に関し、混載や共同輸送は利用しておらず、検討も行ったことはない。	混載や共同輸送の利用を行っているが、小ロットの全体の物量の5割未満である。	小ロット全体の物量の5割以上9割未満で、混載や共同輸送を利用している。	小ロット全体の物量の9割以上で、混載や共同輸送を利用している。		・CGL 省資源ロジスティクス事例集 http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html
		59	得意先への配送の際には、他社との共同配送により積載率を高めている。	共同配送を実施しておらず、検討も行ったことはない。	共同配送実施に向け、他社と検討している。	共同配送を実施している。	左記に加え、参加企業の増加や対象地域の拡大等、さらなる共同配送の拡大につとめている。		・CGL 取引条件を考慮した環境負荷低減施策に関する提案-加工食品をモデルとして- ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html
		60	調達物流においてミルクラン方式(共同運行含む)を利用している。	調達物流の効率化に向けた検討を行っていない。	調達物流の効率化に向けて、検討している。	一部事業所でミルクラン方式を導入している。	半数以上の事業所でミルクラン方式を導入している。		・2007年度グリーン物流パートナーシップ 国土交通大臣表彰(香川松下電工㈱、榊朝日通商、日本通運㈱、日本貨物鉄道㈱) http://www.greenpartnership.jp/pdf/active/kaigi/06/haihu/handout6-2.pdf ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html
		61	車両の積載効率向上のために、二段化等、積載方法を工夫している。	積載方法の工夫は行っておらず、コンテナ等の上部等に空きスペースがある。	積載方法の検討を進めている。	一部の荷物の輸送に関して、積載方法の工夫を実施している。	荷物に応じた積載方法の工夫を実施している。		・2006年度グリーン物流パートナーシップモデル事業(㈱日立産機システム、日立物流㈱、日本貨物鉄道㈱、ヤマト運輸㈱) http://www.greenpartnership.jp/pdf/proposal/back/h18/h18proposal.pdf
		③ 点検・整備・安全管理	62	タイヤ空気圧の測定・補充を定期的に行っている。	タイヤ空気圧の測定・補充を実施していない。	タイヤ空気圧の測定・補充を実施しているが、不定期である。	タイヤ空気圧の測定・補充を定期的に行っている。	左記に加え、点検項目をチェックリスト化し、その結果を管理している。	
	63		エアフィルターの点検・清掃・交換を定期的に行っている。	エアフィルターの点検・清掃・交換を実施していない。	エアフィルターの点検・清掃・交換を実施しているが、不定期である。	エアフィルターの点検・清掃・交換を定期的に行っている。	左記に加え、実施項目をチェックリスト化し、その結果を管理している。		・交通エコロジー・モビリティ財団ホームページ http://www.ecomo.or.jp/topix/torikumi_jirei_truck.pdf
	64		排気ガスの色を目視で確認している。	排気ガスの色の確認を行っていない。	排気ガスの色の確認を行っているが、不定期である。	排気ガスの色の確認を定期的に行っている。	左記に加え、確認項目をチェックリスト化し、その結果を管理している。		・交通エコロジー・モビリティ財団ホームページ http://www.ecomo.or.jp/topix/torikumi_jirei_truck.pdf

分類	No	チェック項目	実施度合い				回答欄	参考情報、関連団体等
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている		
活動 2・2 輸配送の見直し	④ エコドライブ	65	エコドライブに係るマニュアル等を用いて、エコドライブ活動を実施している。	エコドライブ活動を実施しておらず、検討も行っていない。	エコドライブ活動を実施しているが、一部事業所にとどまり、全社的な活動には至っていない。	エコドライブ活動に全社的に取り組んでいる。	左記に加え、車両別、ドライバー別の燃費、事故率等が管理するとともに、勉強会を継続的に実施している。	・CGL CO2削減推進委員会 活動成果報告書Ⅲ. エコドライブ推進ガイド-輸送事業者と発着荷主の連携- ・神奈川県 経営者、運行管理者のためのエコドライブマニュアル <a href="http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/taikisuisitu/car/01ecodrive/0113/0113text.html">http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/taikisuisitu/car/01ecodrive/0113/0113text.html</a>
		66	デジタコ等を活用し、ドライバーへエコドライブ指導を実施している。	デジタコ等を導入しておらず、エコドライブ指導ができていない。	デジタコ等の導入を検討している。	一部事業所でデジタコ等を導入している。	デジタコ等の積極的な導入が行われ、かつ出力される結果に基づくドライバー指導を実施している。	・財団法人運輸低公害車普及機構(LEVO) EMS普及事業 <a href="http://www.levo.or.jp/ems/ems00.html">http://www.levo.or.jp/ems/ems00.html</a>
	⑤ 低公害車両の導入	67	クリーンエネルギー自動車を導入している。	クリーンエネルギー自動車を導入しておらず、導入の検討も行ったことはない。	クリーンエネルギー自動車導入に向けて、検討している。	試験的に導入している。	積極的に導入している。	・クリーンエネルギー車：CNG、ハイブリッド、LPG、電気自動車等 (社)日本自動車工業会 <a href="http://clean-energy.jama.or.jp/lineup/">http://clean-energy.jama.or.jp/lineup/</a>
		68	最新の排気ガス規制に対応したトラックを前倒しで導入している。	トラックの規制及び対応について、担当者任せであり、把握していない。	規制にあわせた対応であり、前倒し導入は実施していない。	買い替え車両が発生した際には前倒しで導入している。	買い替え車両のみならず、他の車両についても計画的に前倒し導入を進めている。	・国土交通省 自動車交通局 自動車排出ガス規制について <a href="http://www.mlit.go.jp/jidosha/sesaku/environment/osen/osen.htm">http://www.mlit.go.jp/jidosha/sesaku/environment/osen/osen.htm</a>
		69	エンジン停止時も冷凍機能が停止しない冷凍車を使用している。	エンジンを停止時も冷凍機能が停止しない冷凍車を導入しておらず、導入の検討も行ったことはない。	エンジンを停止時も冷凍機能が停止しない冷凍車導入に向けて、検討している。	試験的に導入している。	積極的に導入している。	
		70	エコタイヤを導入している。	エコタイヤを導入しておらず、導入の検討も行ったことはない。	エコタイヤ導入に向けて、検討している。	試験的に導入している。	積極的に導入している。	
		71	バイオマス燃料を利用している	バイオマス燃料を導入しておらず、導入の検討も行ったことはない。	バイオマス燃料導入に向けて、検討している。	試験的に導入している。	積極的に導入している。	・バイオマスニッポン(農林水産省) <a href="http://www.maff.go.jp/j/biomass/">http://www.maff.go.jp/j/biomass/</a>

分類	No	チェック項目	実施度合い				回答欄	参考情報、関連団体等	
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている			
活動 荷役・保管・流通加工の見直し	① 機器導入・運用の工夫	72	環境負荷の高い物流機器を削減し、省エネ型物流機器、低公害型物流機器を導入している。	省エネ型物流機器、低公害型物流機器を導入しておらず、導入の検討も行ったことはない。	省エネ型物流機器、低公害型物流機器導入に向けて、検討している。	一部事業所で導入している。	半数以上の事業所で導入している。		
		73	効率的な人員配置と機器運用により、稼働時間の短縮を実現している。	稼働時間の短縮に向けた検討を行ったことはない。	稼働時間の短縮に向け、人員配置や機器運用の検討を行っている。	一部事業所で実施している。	他事業所にも展開するとともに、定期的に現場チェックを行い、徹底を図っている。		
		74	環境負荷の低減を考慮して、物流機器の使用の制限や適切な能力の機器の選択を行っている。	環境負荷の低減を考慮した、物流機器の運用や選択の検討を行っていない。	環境負荷の低減を考慮した、物流機器の運用や選択を検討している。	環境負荷の低減を考慮した、物流機器の運用や選択を行っている。	左記に加え、現場チェックを行い、徹底を図っている。		
	② 施設設計・レイアウト	75	物流量の変動並びに作業動線を考慮して、倉庫レイアウト、あるいは在庫レイアウトを変更している。	過去からの成り行きのままのレイアウトであり、変更を実施していない。	レイアウトの変更を検討している。	レイアウトの変更を実施している。	左記に加え、在庫ABC分析の結果等を用い、常に適正なレイアウトで作業が行われている。		
		76	入荷と出荷の車両が混雑・交錯・滞留しないように、施設・レイアウト設計の工夫、もしくはタイムスケジュール管理を行っている。	入荷・出荷による混雑・交錯・滞留を考慮しておらず、検討も行ったことはない。	入荷・出荷による混雑を考慮してパースの物理的もしくは時間的な分離を検討している。	入荷・出荷のパースを物理的もしくは時間的に分離しているが、一部事業所に留まっている。	全社的に入荷・出荷のパースの物理的もしくは時間的な分離を実施している。		
		77	積みおろしに伴う待ち時間のアイドリングを防止するため、ドライバー控室を設置している。	ドライバー控室を設置しておらず、設置の検討も行ったことはない。	ドライバー控室設置に向けて、検討している。	一部事業所で導入している。	半数以上の事業所で導入している。	・CGL CO2削減推進委員会 活動成果報告書Ⅲ、エコドライブ推進ガイド-輸送事業者と発・着荷主の連携-	
		78	電力設備、照明、空調に省エネ機器を導入している。	電力設備、照明、空調に省エネ機器を導入しておらず、導入の検討も行ったことはない。	電力設備、照明、空調に省エネ機器の導入に向けて、検討している。	一部で導入している。	積極的に導入している。	・NEDOエネルギー使用合理化事業者支援事業 <a href="http://www.nedo.go.jp/">http://www.nedo.go.jp/</a> (高効率変圧器、高効率省エネ器具、逐次冷却システム) ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html">http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html</a>	
		79	ラック、ネステナー、パレットサポーター等によって保管効率を向上させる工夫をしている。	保管効率を向上させる機器導入は一部に留まり、平置きが多い。	機器の導入を行うとともに、在庫の変動による定期的な見直しを検討している。	在庫の変動による見直しを実施しているが、不定期である。	在庫ABC分析を用いて定期的な見直しを行い、高効率な保管を実現している。		
		80	荷物積みおろし中の冷凍車のアイドリング防止のため、保冷車用のコンセントを設置している。	保冷車用のコンセントを設置しておらず、設置の検討も行ったことはない。	保冷車用コンセント設置に向けて、検討している。	一部事業所で導入している。	半数以上の事業所で導入している。		
		81	冷蔵・冷凍倉庫において、代替フロン(HFC)や自然冷媒を使用している。	冷蔵・冷凍倉庫で使用されている冷媒について、把握していない。	全ての倉庫でフロン類(HCFC)を冷媒として使用している。	一部倉庫で、代替フロン(HFC)や自然冷媒を冷媒として導入している。	左記に加え、温暖化に影響を与えない自然冷媒の積極的に導入している。	・経済産業省 オゾン層等保護推進室 <a href="http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/04ozone/index.htm">http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/04ozone/index.htm</a> ・CGL 省資源ロジスティクス事例集 <a href="http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html">http://www.logistics.or.jp/green/case/index.html</a>	
		82	冷蔵・冷凍倉庫において、できるだけ外気が侵入しないように工夫をしている。	外気の侵入に対する方策を実施しておらず、検討も行ったことはない。	外気の侵入対策を検討している。	一部の冷蔵・冷凍倉庫でエアカーテンやドッグシェルターを設置する等実施している。	冷蔵・冷凍倉庫で、外気の侵入への対策を全社的に実施している。	・社団法人日本冷蔵倉庫協会 <a href="http://www.jarw.or.jp/">http://www.jarw.or.jp/</a>	
		83	冷蔵・冷凍保存が必要な商品が過剰冷却にならないようにしている。	冷蔵・冷凍保存が必要な商品の過剰冷却について特に気を払っていない、もしくは把握していない。	荷主と物流事業者の連携により、冷却温度の適正化について検討している。	一部の冷蔵・冷凍倉庫で適正な温度で保存している。	半数以上の冷蔵・冷凍倉庫で実施している。	・社団法人日本冷蔵倉庫協会 <a href="http://www.jarw.or.jp/">http://www.jarw.or.jp/</a>	
		③ 物量の平準化	84	入庫量、出庫量、保管量を平準化し、保管スペースをコンパクトにしている。	平準化について検討していない。	物流部門としては取り組んでいるが、他部門への要請は行っていない。	物流部門としては取り組んでおり、他部門との共同取組を検討中である。	共同で取り組んでいる。	
			85	不動態在庫、不良在庫等の無駄な在庫を削減し、保管スペースをコンパクトにしている。	在庫の実態を数値的に把握していない。	在庫の実態を数値的に把握しているが、削減に向けた方策を定期的に実施していない。	在庫の実態を数値的に把握し、棚卸前など、必要に応じて処置を実施している。	在庫ABC分析の結果等を営業部門等と情報共有することにより、適正な処置を定期的に実施している。	
更④ 資材削減・変	86	ラベルやラベルインキ、テープ、養生資材等の購入の際に、素材を考慮している(グリーン購入)。	素材を考慮した購入は行っていない、もしくは担当者任せになっており組織的な基準がない。	グリーン購入の方針、基準を検討している。	グリーン購入の方針、基準を策定している。	左記に加え、グリーン購入を積極的に進め、80%以上の割合で実施している。	・グリーン購入ネットワーク <a href="http://www.gpn.jp/">http://www.gpn.jp/</a>		